



クリスマスを彩る リース作り教室開催

11月27日、物産センター連絡協議会主催（佐藤真治会長）によるリース作り教室が道の駅上ノ国もろじゅで行われました。

この教室では、リース作り歴5年の館政文子さん（字上ノ国）が講師となり、8名の参加者とともに様々な飾りのリースが作られました。

また、リースには主に上ノ国産の材料が使われており、沿道に生えていた紫陽花の茎や、夷王山で採れた野いばらの赤い実を使用しました。

作られたリースは、24日のクリスマススイブに、もろじゅで行われたワックスキャンドル点灯式にも飾られ、きらびやかな装飾が上ノ国のクリスマスの彩りに花を添えていました。



入賞者多数 地元開催の柔道檜山大会

11月26日、檜山管内の柔道少年少女が出場する『第35回南檜山少年柔道大会（防犯大会）』が上ノ国中学校格技場にて開催され、本町の柔道少年団に所属する13名が参加しました。

地元開催の大会において、柔道少年団の子ども達は練習の成果を遺憾なく発揮し、個人戦では出場した全階級を制覇、団体戦でも小学生高学年・中学生が総合優勝し、2年ぶりの優勝旗を手にするなど、抜群の成績を修めました。

少年団を指導している久末育広さん（字中須田）にお話を伺うと『この日は、子ども達が培った力をそのまま発揮しました。本番では本当に難しいことなのですが、よく頑張りました。』と、見事に実力を発揮したことを称え、これからさらに伸びていくってほしいとも語っていました。

※大会結果は20ページスポーツだよりに掲載しています。

夷王ジュニア、急成長！

12月11日、上ノ国町バレーボール連盟が主催する『第9回夷王カップバレーボール大会』が町民体育館および上ノ国小学校体育館で開催され、渡島・檜山管内の11少年団から女子・男女混合合わせて18チームが参加しました。

本町からは夷王ジュニア女子チームが出場し、バレー経験が半年から1年半のメンバー中心でしたが、これまでの練習の成果を発揮し、破竹の勢いで準決勝まで駒を進めました。

準決勝では1月に北海道小学生選抜優勝大会に出場が決まっていた乙部町の『乙部デイト』と対戦し、2セットマッチの1セット目を21-18で先取しましたが、2セット目を17-21で落とし、得失点差1で惜しくも準決勝敗退となりました。

この結果に、夷王ジュニア女子チーム監督の佐藤優作さん（字北村）は『子ども達の努力が急成長という形で実り、全道クラスの相手にも一歩も引かない姿勢と強さを見せたことに感謝の気持ちでいっぱいです。』と話し、今後のさらなる成長を期待している様子でした。



熱気に満ちた 高齢者芸能発表会

12月14日、上ノ国町老人クラブ連合会主催（高橋廣会長）による『平成28年度高齢者いきいき芸能発表会』がジョイじよぐらにて開催されました。

年末の風物詩となっている芸能発表会ですが、今年も約200人の来場者が会場に詰め掛け、舞台裏でそれらを目にした演者の方々は、いつも以上に気合が入っている様子でした。

会場では、第一部の舞踊から、第二部の民謡、第三部のカラオケまで合わせて30以上の演目が行われたほか、江差追分全国大会優勝者による追分や、上ノ国保育所年長組によるアトラクションも盛り上がり、花を添え、観客からの拍手や笑い、声援も相まって、会場は熱気に満ちていました。

